

P T A指導者研修会（東部会場）

実施要項

1. 趣 旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるP T Aの役員を対象に、現代的課題をふまえながら指導者としての資質の向上を図る「P T A指導者研修会」を実施することで、役員から各单位P T Aに研修内容を広げていき、P T A活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

2. 主 催 鳥取県P T A協議会

3. 期日・会場

平成26年6月14日（土） 国府町中央公民館

4. 参加者 東部地区各小・中学校単位P T A役員 2名程度 （毎年実施している本研修に未参加の方が望ましい）

5. 日 程

9:00 9:30 10:00 10:10 12:00

受付	開会行事 施策説明	休憩 移動	分 科 会	閉会
----	--------------	----------	-------	----

6. 研修内容

（1）全体会

あいさつ（主催者）

施策概要説明 鳥取県教育委員会 東部教育局
社会教育担当 社会教育主事 寺谷孝志 氏

（2）分科会

① 第一分科会（P T A活動活性化分科会）

「**広報紙の作成手法**」 【事例発表2＋講演（新聞社）＋討議】

発表者：若葉台小学校愛育会 広報部長 米田恵美子 氏

（予定）船岡小学校 PTA 広報委員長 岸本 剛 氏

講 師：新日本海新聞社 編集制作局長 田中仁成 氏

② 第二分科会（メディア対策分科会）

「**ケータイ・インターネット教育の啓発手法**」 【講演＋討議】

講 師：KDDI ケータイ教室 安心・安全講座専任講師 神園研吾 氏

③ 第三分科会（家庭教育力向上分科会）

「**とっとり子育て親育ちプログラム**」 【参加型演習】

“学校に行きたくないって” ってどんな気持ち？

講 師：鳥取県教育委員会 東部教育局
社会教育担当 社会教育主事 寺谷孝志 氏

報告

第1分科会「広報紙の作成手法」

【参加者：46名】

実践発表① 鳥取市立若葉台小学校愛育会
広報部長 米田 恵美子氏

- ・広報紙「カリヨンのひびき」は年3回（7、12、2月）1500～1550部発行
- ・リーダー会議にて年間行事確認や保護者の関心事など記事を決定し、広報委員会を開催する。委員会の効率化が図られている。
- ・「自転車の乗り方」特集、総合学習特集など保護者の関心の強い内容にする工夫がされている。

実践発表② 鳥取市立船岡小学校PTA
広報委員長 岸本 剛氏

- ・各クラスからの選出ではなく、意欲のある方を集めての委員会構成。
- ・以前は10名ほどいた委員が現在6～7名と減少傾向にある。
- ・楽しみながら作るよう心がけている。
- ・広報紙集からアイデアをもらったりしている。
- ・記事用に撮った写真を販売している。好評である。

講演 講師 新日本海新聞社 編集制作局長 田中 仁成氏

1. PTA 広報紙、一体何を作ればいいのか 編集方針と企画内容
 - ・PTA 活動の内容を知らせ、関心を持ってもらう。
 - ・保護者の関心事に合う内容にする。例えば塾ランキングなど。
 - ・保護者の立場、先生の立場でどう考えているか、など対談式も面白い。
 - ・問題提起があっても良いのでは。
2. レイアウト
 - ・短い記事ほど人は読む。
 - ・文字や字体に変化を付ける。
 - ・きっちりと整理された写真や、文字でなく変化を持たせる。
 - ・気の利いた題名をつける。
 - ・見出しの位置に変化をつける
3. 決まりごと
 - ・編集者、発行者の明示。数字、名前に間違いが無いようにする。
 - ・わかりやすい表現に心がける。
 - ・後記を付ける。
4. 質問
 - Q : 県東部は入賞作品が少ないようですがなぜ？
 - A : 東部は活動報告ばかりで内容が乏しいものが多い。
企画や特集をしてみても良いでしょう。
評価の高い広報紙や雑誌のレイアウトなどを真似するとよい。

第2分科会「ケータイ・インターネット教育の啓発手法」

【参加者：60名】

【講演要旨】

1. 保護者・教職員コース
 - ・子どもたちにケータイを持たせるうえで、保護者や教職員の立場から知っておいていただきたいトラブル事例と、保護者と子どもたちが一緒に考え取り組んでいただきたいことについて説明。また、安心・安全対策の基本的な設定方法やケータイ・インターネットに関するさまざまな質疑に回答。
2. 内容
 - スマートフォン（スマホ）所有率が若年層にどんどん広がっており、使用時間については中学

生が一番多い。JR駅構内でスマホ使用の注意アナウンスが流れている地域もある。

◆エピソード1

動画視聴

アルバイト先でいたずら写真を投稿 → Web上で騒動になり → 損害額3,000万円を請求された。

- ・ネットイナゴ、炎上、エゴサーチについて説明。
- ・投稿する前によく考え、冷静に行動する。

◆エピソード2

動画視聴（既読恐怖の実態）

友達をラインのグループからはずす → 今度は自分がはずされる → 最終的に不登校状態になってしまった。

- ・「既読無視」「既読疲れ」について説明。
- ・子どもはライフワークの軸にケータイを置いている。授業中に先生にスマホを取り上げられ、拒絶反応を起こし失神して救急車で搬送されたケースもある。

◆エピソード3

動画視聴（SNSデビューで“モテモテ”）

SNSに個人情報を入力 → 危険な目に遭う → 終わらない嫌がらせ

- ・個人自身が個人情報（着ている服、景色など）
- ・個人の特定される情報を開示することによって、ストーカーや詐欺などの犯罪に巻き込まれてしまう。
- ・むやみに詳細な個人情報をアップしない。
- ・大人の意識改革が必要。
- ・個人情報保護機能・設定を過信しない。
- ・面倒・手間と思っても契約内容などを確認する。
- ・「無知は“損”なり」 → 「無知は“罪”なり」の意識改革が必要。

【 質疑応答】

Q（中学保護者）高校生がスマホを一番多くもっている理由は？

A（神園氏） 保護者意識として自分が使っている利便性がある。電話ではなく文字で連絡できるラインがしたいからと購入している保護者が4割ある。教育の場ではスマホの必要はない。買い与える側が責任を負う必要がある。中学生70%、高校生100%、小学生60%以上が所有。

Q（中学保護者）ガラケーはこれからどうなっていくのか？

A（神園氏） 隅に追いやられ、希少価値が高くなっていく。

Q（小学保護者）ガラケーにはフィルタリングがあったが、スマホはフィルタリングが出来ないのか？

A（神園氏） ラインなどのSNSでは、フィルタリングがかかっても穴をあけられて洩れてしまう。不安定なので過信しない方がいい。

Q（小学保護者）スマホにアプリケーションを入れることになるのか？

A（神園氏） 使用制限という認識になるが、ネットワーク側ではかけられない。

Q（小学保護者）WiFiにフィルタリング設定はできないのか？

アンドロイドにフィルタリングはどこまで出来るのか？

A（神園氏） かかっても子どもがやぶってしまう。いたちごっこで将来的になくなることはない。ご自身で守っていただきたい。

Q（小学保護者）コンビニなど各店舗にWiFiがあるが、対策がなければ企業に直接交渉しなければならないのか？

A（神園氏） 県などの対策がとられれば可能と思われる。

（中学保護者）ゲーム機レンタル屋で中学1年生が中古スマホを購入し、WiFi環境を使いラインを行なったケースがあった。

Q (小学保護者) 無料音声通話が出来るラインに対し通信キャリアはどのように考えているのか？

A (神園氏) 対処の仕様が無いので、黙認している。予防しか出来ない。ソフトを使う人間が進化しないとイケない。パソコンは普及するのに14年かかったが、スマホは3年で普及した。対策が追いついていない。

Q (中学保護者) 小学生向けの講習概要を聞きたい。

A (神園氏) 主にマナー・モラルについて教えていく。多重課金やワンクリック詐欺などについて。最終的に自分の責任が何に対してかかるのか。最終はおとうさんやおかあさんにかかってしまう。

(小学保護者) ワイファイのフリースポットに小学生が5~6人来ていた。保護者の研修が非常に大切だと思う。

(小学保護者) ペアレンタルコントロールを保護者が音楽プレーヤーにも入れて欲しい。

(中学保護者) 小中学校校区内毎週木曜日をノーメディアデーとしている。子どものメディアへの係わり方についてルール作りが必要と思う。

【感想】

インターネット技術はどんどん進化していくのに人のモラル・マナーは昔から変わっていないのが実情。子ども達を守る為には、まず無知な大人(保護者)が学習し、真剣に対策を考えなければならない時期に来ている。

第3分科会「家庭教育力向上」

【参加者：34名】

とっとり子育て親育ちプログラム参加型演習

講師：東部教育局社会教育担当 社会教育主事 寺谷孝志 氏

テーマ：「学校に行きたくないって」ってどんな気持ち？

寺谷氏より 学校に行きたくない意志を表した子供がいるかという質問に・・・

手を挙げられた保護者有り

◆ アイスブレイキング…わが家(わたし)の「当たり前」ビンゴの実施

(参加されている保護者全員とビンゴを行い意見交換)

◆ 学校に行きたくなくてどんな気持ち？

ワーク1・・・どんな理由で

ワーク2・・・自分自身の子供の頃の学校を休みたかったエピソード

ワーク3・・・わが子が学校に行きたくないと思った時の関わり方

※1班~8班にわかれて意見交換実施。(参加、尊重、守秘の3つを守ること)

◆ いじめ防止対策推進法・・・基本的な理念や体制を定めた法律 について説明

平成25年6月21日成立、6月28日公布、9月28日施行

1. 目的：いじめや不登校児童、生徒を生まないために。

※学校がいじめの通報窓口となる

※重大事態には調査組織の設置

1つの例として通信機器によるいじめがあり、大人の目が届きにくい

2. 保護者の努力義務

1. 子供がいじめをしないように指導すること

2. いじめを受けた場合には適切に保護すること

3. いじめの防止の措置に協力すること

3. いじめを減らすために・・・

学ぶ土台<健康な学校生活を送るベース> 早寝・早起き・朝ごはん
家庭・・・規則正しい生活リズム

学校・・・授業に参加し、基礎的な学力を身につける

地域・・・見守りからの声かけ

※ 学校・家庭・地域が協働して、子供の育ちを応援する手立てをたてて取り組む

【感想】

このような参加型演習としてただ講師の話を漠然と聞く講話よりも、この分科会に参加された保護者の方、全員とコミュニケーションをとり、お互いの話をするなかでいろいろな悩みがあるんだなと思いました。

このような会が今後ももっと増えていき他の小・中学校の保護者とも交流していければと思います。

アンケート 結果

- 1 学校区分 小学校 81 ・ 中学校 32 計 113
2 参加分科会 第1（広報紙）33・第2（メディア） 42・ 第3（家庭教育向上）26
3 分科会について

(1) テーマ

良い 99 (87.6%) ・ だいたいよい 14 (12.4%) ・ あまりよくない 0

(2) 内容の活用

是非活用したい 66 (58.4%) ・ 今後検討したい 45 (39.8%) ・ 活用はむずかしい 2 (1.8%)

〈理由〉

(第1分科会 広報誌作成)

- ・ 新聞社の方の専門的な話を聞ける良い機会だった。
- ・ 講師の方のお話が聞きやすく、楽しい研修だった。
- ・ 地域と連携して活動を発信していきたい。誰からにも愛されるよりよい広報誌づくりたい。
- ・ 広報誌の基本、レイアウト・メリハリなど参考になった。
- ・ 他校の広報のいいところを参考にしたい。
- ・ わかりやすい事例の紹介でとても参考になった。
- ・ 広報誌の事は何もわからないまま部長になったので、大変参考になった。
- ・ 他校の広報誌を目にする機会がなく今回の研修で学べたことは大きい。パターン化している内容に変化をつけたい。
- ・ 初めての参加で聞くことも始めての事ばかり。とても楽しく研修できた。今後活かしたい。
- ・ 小学校の事例だけでなく、中学校の事例も発表してほしい。小学校は活発だが、中学校はどうでしょう。

(第2分科会 メディア対策)

- ・ 具体的な事例を交えての話で、大変分かりやすかった。
- ・ 現業の生のお話が聞いて良かった。
- ・ 保護者が正しい知識を持つことが大切だと感じた。
- ・ 保護者、子、教員すべてで情報を共有する必要があると思う。
- ・ 知らないということは 恐ろしいということを再認識できた。
- ・ 大人と子どもではマナーも意識に差があると感じた。マナー・モラルの学習の重要性を感じる。
- ・ 動画で編集されていたので子どもでもわかりやすい内容。親子で研修したいと感じた。
- ・ 知らないことも多くあった。今後学校の研修でも企画したい。
- ・ 高校生の保護者対象の話に聞こえた。小中学生を持つ保護者としての心構え等を聞けたら良かった。
- ・ 子どもたちにも伝えたい内容だった。
- ・ フィルタリングだけでいいと過信してはいけない事がよくわかった。
- ・ 今後、小学校でも学習が必要になっていくと思われる。

- ・個人情報の広がりやの怖さや、予防の大切さ、被害にあったら証拠を残すことが必要であることを子どもたちに伝えたい。
- ・子どもにメディアツールがなくても楽しめる事を教えることが大切。これが親の仕事！！
- ・交通ルールの徹底と同じように、ネット利用のマナー、ルールを教える事が大切と感じた。
- ・他校からの情報提供もあり、有意義な時間だった。
- ・問題が起きてからの対処方法に疑問。問題の元となる機能を作り市場に出回らせたのは企業。問題が起きてから啓発ですか？ 起こりうるトラブルを予測し、それを防ぐ対応を行ってから販売、サービスを開始してほしい。便利でありがたいものだが、対応に疲れたり、家計的にも困りもの。どんなサービスが生まれようとも、正しい判断ができる子を育てればいいんですが…。

(第3分科会 家庭教育向上)

- ・人の意見が聞けて良かった。
- ・新しい気づきがあった。
- ・建設的、前向きな意見を多くの方と話し合いができてよかった。
- ・参加型で内容も取り組みやすかった。
- ・内容が深すぎて時間が足りなかった。もっと他の人と話がしたかった。
- ・グループワークで話し合ってみると発見がある。
- ・保護者同士の話し合いの参考になった。
- ・他校の様子や体験を直接聞くことができ、大変参考になった。
- ・たくさんの方の意見をお聞きすることができ、とても参考になった。参加してよかった。
- ・保護者同志コミュニケーションが図れる企画を設けたい。
- ・アイスブレイキングを含め、保護者同志のコミュニケーションを深める良い方法。
- ・いざという時の心の準備ができた。
- ・自分の校区では、なかなか本音で言えないかも。だからといって何もしない訳にはいかないのですが。
- ・個人的にワークショップは苦手ですが、参加してよかった。
- ・心を開くことのできる最良の研修だった。
- ・大変意義深い研修だった。いい話し合いができて感動した。家庭や学校で活かせる内容だった。

4 今後研修したい内容

<ul style="list-style-type: none"> ・食育について ・読み聞かせ ・PTA 役員のふるまい ・各校の PTA 球技大会・主催行事の内容の報告会 ・広報誌の作成手法はぜひ継続してほしい ・うきうきわくわくするような人・テーマ・本の紹介 ・子どもの心への寄り添い方 など ・学校と PTA とのつながりについて ・いじめ問題について ・地域とのかかわり 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災 ・県外の学校の状況 ・クレーマー保護者の対応術など ・オンラインゲームと引きこもりの関連 ・ゲームと事件の因果関係 ・人間力（親力）、大人の教育 ・コミュニケーション（親・子） ・運動能力の向上について ・家庭での生活習慣・しつけ
---	---

5 研修全体を通して

- ・とても楽しく研修に参加できた。
- ・県から講師派遣等の話が聞けて良かった。
- ・時期、会場、参加人数共に良い企画。
- ・県の施策や取り組みについてももう少し詳しく聞きたかった。
- ・意見交換ができる場を作ってほしい（交流スペースと時間）

- ・分科会の3つのテーマについて、まとめの報告が全体会場で発表されるとより良い成果が表れる。それぞれの思い、感想を、これからのPTA活動の原動力につなげてほしい。
- ・駐車スペースがある会場でよかった。
- ・今回初めての参加だったが、とても参考になり、何回か企画してほしい。
- ・役員になり初めての参加でしたが、すごく学べて楽しい時間でした。
- ・いろいろ情報収集ができた。
- ・ステージ上の机は前に袴のある机を用意した方が良い。
- ・分科会の人数が偏りすぎている。
- ・他の分科会にも参加したかった。体が一つしかないのがジレンマ。
- ・スタッフがすばらしすぎる。
- ・有意義な会を開いていただき感謝。運営スタッフはご苦労もたくさんあったかと思う。
- ・多くの研修会を企画してほしい。
- ・どの内容にも参加したかった。このような機会に積極的に参加したい。
- ・教職員がいじめ対応に対してどのような研修を受けているのか知りたい。その対応は保護者の意見が反映されているのだろうか。

P T A指導者研修会（中部会場）

実施要項

1 趣 旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるP T Aの役員を対象に、現代的課題を踏まえながら指導者としての資質の向上を図る「P T A指導者研修会」を実施することで、役員から各单位P T Aに研修内容を広げていき、P T A活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

2 日時・場所

- ・平成25年6月28（土）9:30から12:00
- ・倉吉体育文化会館（中研修室）

3 日程

9:00	9:30	9:50	12:00 終了
受付	開会行事 ・施策説明	テーマ別研修会	閉会

4 参加対象

- ・中部地区 小・中学校 各单位P T A役員3名程度

5 内 容（予定）

（1）開会行事・施策説明／中研修室

- ・主催者あいさつ
- ・施策説明（鳥取県教育委員会中部教育局）

（2）テーマ別研修会

■第1分科会／中研修室

○内容：ケータイ教室 安心・安全講座

子どもたちにケータイを持たせるうえで、保護者や教職員の立場から知っておきたいトラブル事例と、保護者と子どもたちが一緒に考え、取り組めることについて研修します。また、安心・安全対策の基本的な設定方法やケータイ・インターネットに関するさまざまな疑問にプロの講師がお答えします。

○講師：大久保輝夫（おおくぼてるお）さん／KDDIケータイ教室認定講師

○ワークショップファシリテーター：岸本隆治（きしもとりゅうじ）さん／鳥取県教育委員会事務局 中部教育局 社会教育担当指導主事

■第2分科会／研修室1

○内容：たかがP T A・・・されどP T A

「P T Aって任意加入でしょ？私は入りません！」そんな時役員のあなたはどうか対応しますか？P T A役員が初めての方からベテランまでトラブル事例をもとに今どきのP T A問題をディスカッションします。

○講師：山口一樹（やまぐちかずき）さん／前米子市小中 P T A 連合会会長
浅雄淳子（あさおあつこ）さん／鳥取県 P T A 協議会事務局長

■第3分科会／研修室2

○内容：発達障がいを知り、共に考えよう

子ども達はみな、いろいろな人から応援をされながら暮らしています。発達障がいのある子ども達も安心して心豊かに暮らすことができるよう、まずは発達障がいを知り、私達にできることを考えてみませんか。

○講師：中島朋子（なかしまともこ）さん／倉吉養護学校支援部 LD等専門員

アンケート集計結果

- ・分科会のテーマについては100%が肯定的、概ねニーズの高いテーマ選択ができた。
- ・各単Pでの活用については約95%が肯定的、単Pでの研修に活用したいとの意見もあり。
- ・来年度以降の研修会の開催は約95%が肯定的、参加対象者の研修意欲は高い。
- ・研修したいテーマは、コミュニケーション、コーチング、いじめなど。
- ・講義だけでなくワークショップ形式を取り入れることで参加者の満足度が高まっている。
- ・ワークショップの時間設定が短く、十分な時間設定を望む意見があった。

1 学校区分

- ①小学校 ②中学校 ③その他

2 参加分科会

- ①第1分科会 ②第2分科会 ③第3分科会

	小学校	中学校	回収計	参加者数
第1分科会	13	12	25	31
第2分科会	15	7	22	27
第3分科会	14	7	21	26
計	42	26	68	84
率	61.8%	38.2%	80.9%	100%

3 分科会について

(1) 分科会のテーマについて

- ①良い ②おおむね良い ③あまり良くない ④良くない

	良い	おおむね良い	あまり良くない・ 良くない
第1分科会	21	4	0
第2分科会	15	7	0
第3分科会	14	7	0
計	50	18	0
率	73.5%	26.5%	0%

(理由等)

【第1分科会】

- ・現代的テーマだった。これからますます増えることなので。
- ・保護者の関心は高く、単P or 中学校区などでしょっちゅうテーマにあげられている事柄なので。
- ・学校などで、ケータイ（LINE）問題があるので、自分自身学習するために参加した。グループワークもあり、皆さんの意見が聞け、とても有意義な会でした。
- ・自校の課題の中の一つだったので良かった。
- ・KDDIの先生の話がわかりやすかった。(4)
- ・わからない事が多かったので勉強になりました。

- ・ケータイを持たせる時のルール案がたくさん知れた。
- ・知らなかったスマホ、LINEなどの影の部分がよく分かった。
- ・普段何気なく使っているスマホについて、危険性がたくさんあることがとても勉強になった。(2)
- ・身近なテーマだから
- ・現代の実情に合っているニーズが高い話題

【第2分科会】

- ・PTAの内容がよくわかった。
- ・悩み事を解決するヒントになれば良いと思う。
- ・各単組の意見を聞くことができ勉強になった。
- ・PTA活動について人と話ができたこと。
- ・同じ悩みや苦勞をしている人たちと話を参考になった。おもしろかった。
- ・役員共通の思い
- ・グループで話し合いができていろいろ意見を聞いたこと。
- ・長年やってきてあらためて考えさせられるテーマでした。
- ・私にとってタイムリーなテーマでした。
- ・テーマがわかりにくいですが内容はわかりやすかった。
- ・ひとつの物に対しての見方の角度が多くなった。
- ・興味のある議題だった。
- ・初めてのPTA会長、役員だったのでPTAとは何かよく分かった。
- ・単Pでも問題になっている話なのでぜひ聞いてみたかったから。
- ・私のイメージしていた研修会とは少し違っていた。一つの事例を元にどんな関わりをしたか体験を中心に話し合いがなされることをイメージしていた。

【第3分科会】

- ・子どもやPTAがどんな問題に直面しているかがわかりやすい。
- ・これから課題です。すべての人に当てはまると思いました。その人の立場を考えるなど。
- ・タイムリーな内容だと思う。
- ・知らない事を学ぶことは大切だと思います。
- ・今必要な問題。
- ・相手目線で話をする事の大切さがわかった。
- ・学校という枠で考えると必須なテーマでした。いろんな意味で自覚や意識を促すものだと思います。
- ・子どもに合わせた理解しやすい言葉を使うということも学んだ。
- ・子どものことを考えながらも自分を見つめる機会になった。
- ・今自分の中で考えている(悩んでいる)内容であった。
- ・今「障害を知ろう」という取り組みをよく見かけるので興味があった。また、友人にも何人か悩みを持つ方がいたので関心がありました。
- ・発達障がいという言葉はよく聞くけれど、具体的に知らなかったから。
- ・発達障がいの子どもの感じ方、接し方をわかりやすく説明していただき自分の子どもにも当てはめて考えることができてよかった。
- ・発達障がいについて学ぶ機会が多い方がよい。

(2) 本日の研修内容を各学校で活用しようと思われませんか。

①そう思う ②ややそう思う ③あまり思わない ④まったく思わない

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない・ まったく思わない
第1分科会	21	4	0
第2分科会	11	10	1
第3分科会	13	6	2
計	45	20	3
率	66.2%	29.4%	4.4%

(理由等)

【第1分科会】

- ・定期的に保護者の方々に話をしていけたらと思った。
- ・ワークショップ形式なのは自分のこととして考えやすく良いが、小学校のPTAだと子供が小さいと将来の状況をイメージしにくいかも。
- ・実は4年以上親子での学習を計画中だったこともあり活用します。
- ・子ども達にも親にも知っておいてもらいたい内容で家庭内で話すべきテーマだから。
- ・今日の話は子どもにも聞かせたいと思った。(2)
- ・大久保先生の話をもっと多くのPTAの方に聞いてもらいたい。
- ・ぜひ周知したい。
- ・携帯は非常に便利だがリスクを伴うので
- ・社会的な問題なのでぜひ活用したいと思う。

【第2分科会】

- ・すでにやっている。
- ・PTA活動継続していく上で必要と思うから。
- ・活用しにくいテーマかも。
- ・現実の問題
- ・研修、会議の前にどうやってリラックスさせるかなど。
- ・活用したいと思うが、どう伝えていいかわからない。
- ・役員会での内容 etc 通信できたらと思いました。
- ・ぜひうちの学校でやってほしい。
- ・雰囲気づくりが役立った。
- ・参考になることは生かしたいと思います。
- ・PTAのあり方等を知ってもらうため。
- ・今後の単Pを考える上でいくつかのヒントをもらいました。
- ・毎年役員決めでは思うことですが、講師の体験話を聞いて役員さんにベテランの人をつけるという案は参考になった。

【第3分科会】

- ・様々な見方があることを勉強できました。
- ・リフレーミングはとても良いと思う。
- ・カードはPTAの飲み会でも使えますね！
- ・でも興味のある人にしか伝わらない、伝えられないという問題がある。
- ・リフレーミングカード、ちょっとカードを使用したい。
- ・どのように活用すればよいかまだ浮かびませんが、小学校でもいろんな特性のお子さんがあるので、きっとそれぞれに困り感はいろいろで、今日のお話は活かせるのではないかと思います。まず気付く知ることが大切だと思いました。
- ・発達障がいについて学ぶ機会がないため色々わかって良かった。
- ・大人もコミュニケーションが苦手だから。

4 今後の開催等について

(1) 本日の研修について来年度以降、開催すべきかどうかご記入ください。

①そう思う ②ややそう思う ③あまり思わない ④まったく思わない

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない・ まったく思わない
第1分科会	22	3	0
第2分科会	17	4	1
第3分科会	16	3	2
計	55		
率	80.9%	14.7%	4.4%

(理由等)

【第1分科会】

- ・自分自身の学習になるので
- ・内容的に役に立つし、人と知り合いになれるから。
- ・問題も少しずつ変化するので注意する点が変わってくる。
- ・このテーマはこれからも続けた方がいいと思います。
- ・色々な情報を提供してもらえるから。

【第2分科会】

- ・役員であっても考え方に大きな差があることに気づかされたため。PTAの目的にズレがある。
- ・研修会の内容もよかったし普段知り合えない人たちと話ができてよかった。
- ・継続が大切
- ・他の学校のことも知れるので今後も続けてほしい。
- ・研修会では学ぶことが多くあるから。
- ・本当に研修会でした。
- ・何かしら学べることがあるのでぜひ続けてほしいです。
- ・いろいろな考えが生まれた。
- ・役員会、会合など負担が多い中での研修会であり大変である。

【第3分科会】

- ・役員の意識から変えていかないと他のPTAにもなかなか伝わらない。
- ・きっかけを与え続けることが大事だから。
- ・わかりやすい内容で知らない人とも交流できたから。
- ・コミュニケーションが大切だから。

(2) 今後、研修を受けたい内容等があれば記入してください。

【第1分科会】

- ・コミュニケーションについて
- ・子育て親育ちプログラムなど
- ・不登校問題
- ・教育と子どもとの関わり
- ・学校外での魅力的な活動について
- ・ケータイ・スマホ、ゲームを子どもにせがまれたら

【第2分科会】

- ・タブレット
- ・いじめ問題(2)
- ・同じ内容をもう少しふみ込んで

【第3分科会】

- ・障がい者への未来の展望、将来的な支援等
- ・人にどう伝えるか、理解してもらえるか
- ・コーチング

5 本日の研修全体をとおしてお気づきの点があればご記入ください。

【第1分科会】

- ・ワークショップ形式には十分な時間設定を。(2)
- ・時間が短いですね、一日でも良い研修でした。
- ・ワークショップではいろんな意見が聞けて良かったです。

【第2分科会】

- ・保護者の地域差が感じ取れた。町は無関心、その他はプライバシーまでふみ込んでいる。
- ・講演会で話を聞くのもいいが、ディスカッションもとてもいいと思った。(初めて参加して楽しかったし、経験されている人の意見は重みがあると思った。)
- ・各単Pの状況がわかり良かった。今後の参考にします。

- ・情報交換できる時間はもっとあってもいいし、何か1つ解決策があればもっといいと思った。
- ・参加型の研修で楽しかった。
- ・とても良い研修で勉強になり、同じグループの方と話ができ良かったです。

【第3分科会】

- ・子育て、子育てに対して再度勉強になりました。リフレッシュカードは大変さんこうになりました。
- ・ワークショップでコミュニケーションが取れたので楽しかったです。
- ・我が子に対する関わり方、関わってもらい方など視点を変える事はなかなか簡単には出来るものではないですが、きっかけが大切なのだと思います。そう気付かされるきっかけを与える会になればと思います。
- ・ちょこっとチャンとカードは良いグッズだと思います。
- ・もう少し具体的な対応の仕方が聞ければ良かったかな。
- ・今回のテーマの研修会に参加できてよかった。ありがとうございました。
- ・たくさんこういう会を開いてほしい。
- ・託児所をもうけてほしい。小さい子がいるとなかなか出席がむずかしい。

P T A指導者研修会（西部会場）

実施要項

1 趣 旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるP T Aの会員を対象に、現代的課題をふまえながらP T A会員としての資質の向上を図る「P T A研修会」を実施することで、会員から各単位P T Aに研修内容を広げていき、P T A活動の活性化を図る。

2 期日・会場

平成26年6月28日（土曜日） 夢みなとタワー（境港市竹内団地 255-3）

3 参加者対象者

西部地区各小・中学校単位P T A会員

- ① P T A活動推進 → 各単位P T Aより1名
- ② 広報紙活動推進 → 各単位P T Aより2名以内

4 日 程

9:30 9:45 10:00 12:00

受付	開会	活動推進（テーマ別開催）	閉会
----	----	--------------	----

1 P T A活動推進(ケータイ&スマホ等の使用に関する勉強会) ⇒ 2階会議室

- 専門の講師を招いて子どもたちがケータイ・スマホ等を使用するにあたり、知っておきたいトラブル事例と対処方法等を研修します。また、安全対策の基本的な設定方法や様々な疑問にプロの講師がお答えします。
- 講演後に少人数グループに分かれていただき意見交換をしていただき、最後に西部教育局様に助言をいただきます。

2 広報紙活動推進 ⇒ 1階多目的ホールC

- 講師を招いて平成25年度県P表彰対象の広報紙等をもとに講評していただきます。

報告

第1分科会 ケータイ・スマホ等の使用について

ネット問題の実態

- ・中学生くらいから、LINEによる生徒間の諸問題が出始めている
- ・架空請求があり、消費者センターに相談した。携帯電話事態を解約して処理を行った
- ・小学校でも一部トラブル事例あり…知らない人と会う等
- ・返信がこない→いじめの要因になる (LINE)
- ・依存して、昔に比べて会話能力が低下している
- ・中学生でもゲームに課金。親のカード番号を使用
- ・通信のできる場所を探し出し集まる
- ・ニンテンドーショップでの課金によるトラブル
- ・Wi-Fiを共有する
- ・小中学生では語学力に限りがあるので間違った伝わり方となり、トラブルが発生する要因ではないか
- ・防衛意識が備わっていないため、危ない扉を簡単に開いてしまう

保有状況

- ・基本的に持たせたくない
- ・把握していない
- ・中学校は50%くらい
- ・女の子はほぼ持っていた
- ・30%くらい (中学校)
- ・緊急連絡用として

持たせる時期は？

- ・スマホは小学生には早い。中学生からなら持たせても…。小・中で半数は持っている
- ・高校生から
- ・小学生の時にキッズケータイ、中学生からガラケー
- ・ガラケーを高校生から
- ・稼ぐようになってから
- ・携帯はやはり高校生からという意見が多い (世の中の社会情勢から考えて、みんなが持ち始めているから)
 - 小学生は早い
 - 高校生はOK→でも高校生から始めると急に勉強しなくなる
- ・小学校から中学に上がる時の情報があまり入ってこないのでケータイを持たす時期が判断しにくい

ネット問題に対しての各校の取り組み

- ・いまのところ取り組みは行っていない (今後は取り組んで行きたい)
- ・学校内では、先生に通信機器を提出し、預かってもらう様になっている
- ・保護者に対する教育・研修会を実施
- ・ケータイ安全教室 (KDDI)
- ・テレビを見ない週間 (年2回)、NOメディア (月2回小学生のみ)
- ・ネット犯罪授業 (県警)
- ・PTA対象の研修←なるべく多く参加してほしいがなかなか踏み込めない
- ・子ども間でトラブルがあったのをきっかけに、PTA執行部で討議し、保護者向けに講演を開いた。
(保護者が分からないところで子どもはトラブルに巻き込まれている)
- ・保護者に対する教育・研修会を実施
- ・子どもに対しても具体例を挙げて教育、ある程度理解している (中学生)
- ・各トラブル防止の為、学校で授業中預かったり、持ってこさせない
- ・メディアコントロール (小学校で使用状況、就寝時間等アンケートをとる) できたか?
できなかったか…定着してきている

- ・小中学校合同のSNS環境などについて研修会を定期的実施する

今後の取り組みは？

【学校として】

- ・児童の現状を知る上で、各種通信機器の使用状況のアンケートの実施
- ・スマホ等を持つ事を禁止するのは現実的ではなくなっているので持っていることを前提にしたルール作りが必要
- ・参考の為、他校でのトラブル事例を集約しては（県P主導で情報提供？）
- ・学校側としてのスマホ等のルール作りが必要では
（学校に持ってくること自体がどうなのか？持ってくるなら一定のルールが必要）
- ・中学校でも実態を調査していきたい。保護者にも危機感をもたす
- ・講演会をしたい
- ・各学校、PTAで広めるために（保護者を含む）グループセッションでトークしてもらおう
- ・各学校で授業参観にとりいれる
- ・講演会や携帯の企業等に説明に来てもらえないか？
- ・講演会参加者が単Pに広く普及教育をする
小中学校合同のSNS環境などについての研修会を定期的実施する。

【家庭で】

- ・家庭内でスマホ等の機器置き場を決めて、常に手元に置かない
- ・夜〇時以降は使用禁止にする（子どもだけでなく、保護者も手本になって実施する）
- ・保護者側がいろいろな知識を持つことが必要（知識がないと、注意しても説得力がない）
- ・最低でもフィルタリング等の対策は実施してほしい（それで完璧ではない）
- ・携帯（ネット）やLINEの使い方をまず親も理解する
- ・フィルタリング、使用料金を決める（実際に使用したら明細を見せる）
- ・フィルタリングでも抜け道がある。危険。
- ・スマホを持たせるまでに各家庭で対策を
- ・親より子どもの方がよく知っている。ゲーム機でもネット環境につながる
（親も一度は使ってみるべき。設定の仕方等を知る。子どもと一緒に使うのもあり）
- ・子どもに対するルールを作る前に、知らないとルールが作れない

講演を聞いて

- ・知っているつもりだったがドキっとする話しでした。
- ・怖いと思いました。親として対策は必要。
- ・音楽プレーヤーでもLINE出来る事を始めて知った。
- ・保護者として、PTAからとして持ち方の指導
- ・携帯を持たず時期→スマホか？ガラケーか？高校受験が終わってから持たす。
- ・親がいるリビングなどでパソコンは使わせている
- ・便利で頼りすぎている。メール、LINEより直接対話することが大事
- ・講演会や携帯の企業等に説明に来てもらえないか？
- ・根本的なしつけや子どもの自信のなさが危うさを助長しているのでは。
- ・保護者がもう少し理解してほしい
- ・親が勉強しないといけないというのはPTAから必ず出る
- ・具体的な施策が必要だが・・・
- ・家庭でのルール決めをPTAから発信
料金の上限・何時以降は使わない等

その他意見

ネット中毒になってしまう事について

- ・安心感かな？（子どもの視点では）
 - ・携帯・ゲーム以外に会話や外遊び等、時間を費やせる事を家庭でも取り組めれば。
 - ・やはり、ある程度のルール作りが必要
- ネットについて悪い部分・怖い部分など闇の方面ばかりの研修が多い

もっと多くの親に対し、ネットについて悪い部分・怖い部分など闇の方面ばかりの研修ではなく、便利な部分・楽しい部分などの明るい方面の研修を行い、興味を持って頂き、専門用語等についても子どもと対等に話せるレベルになってもらえれば、ネット絡みのトラブル減が期待できる。(親が2ヶ月くらい使用するとかなり上達するとのこと)

記録者からの意見

昨年も今回と同様の問題提起はあり、いろいろな場で話し合いが行われてきました。ネットトラブルについて「どうしようか」と話し合うのは必要ですが、そろそろ具体的な対応策を示すべきなのではないかと考えています。とりあえず取り急ぎルール作りをし、実態に合わなければ付け加えや見直しをするといった形でもいいのかと思います。

あと、今回の研修会では様々なネット被害(いじめや架空請求など)についてPTA(保護者)が話しを聞きましたが、当の本人達(子ども達)にもこういった話しを直接聞かせて自覚させる場を設けられたらと思いました。

つついネットトラブルを防止する事ばかりが話題になりますが、実際にトラブルが発生してしまった後の対応も大事だと思いました。特に子ども達がトラブルに関して相談出来る場を複数設ける事。(基本的には保護者になりますが、それ以外にも窓口があった方がいいと思います。)

しかし、このように頭のなかではいろいろ思っても、実際に行動を起こすとすると難しい面がたくさんあります。一度この話を持ち帰り、とりあえずは我が校で出来る事を協議しようと思います。

アンケート結果

(PTA活動推進)			
参加者数	アンケート回収	アンケート回収率	
64名	28/64	43.8%	
(アンケート結果)			
内容は参考になったか?	大変参考になった (82.8%)	参考になった (17.2%)	参考にならなかった (0%)
内容の今後活用	是非活用したい (82.8%)	今後検討したい (17.2%)	活用は難しい (3.7%)
良かった点(抜粋)	グループ討議で情報の共有ができた	保護者も知らないことが勉強できた	他校の取組みを聞くことができた
全体を通しての改善点(抜粋)	特になし		
今後希望する内容(抜粋)	いじめ問題	平和問題	PTA任意団体問題

(広報紙活動推進)			
参加者数	アンケート回収	アンケート回収率	
60名	53/60	88.3%	
(アンケート結果)			
内容は参考になったか?	大変参考になった (58.5%)	参考になった (37.8%)	参考にならなかった (3.7%)
内容の今後活用	是非活用したい (69.9%)	今後検討したい (26.4%)	活用は難しい (3.7%)
良かった点(抜粋)	他校の広報紙を見る事ができた	見出し・イラスト等のレイアウトが参考になった	説明がわかり易かった
全体を通しての改善点(抜粋)	1学期の編集時期なのでもう少し早い時期に開催を希望	広報紙作成者のお話を直接聞いてみたかった	場所が遠いので米子市内を希望
今後希望する内容(抜粋)	ホワイトボードを使ったレイアウト等の説明	実践発表	ディスカッション形式